

## 行方市庁舎建設基本計画(案)の意見に対する市の考え方

○意見募集の時期:令和3年3月26日(金)から令和3年5月10日(月)までの46日間

○提出者数:8人

○意見件数:14件

○意見:庁舎建設に関すること<8人、13件>、その他<1人、1件>

案に対する意見(要旨)	件数	市の考え方
<p>・新庁舎建設は、今後の街の発展が望めると思っ ての事業なのでしょうか。約10億ものお金が、 市の負担となることから、その10億を使っ てもっとすべきことがあるのではないでしょ うか。今の行方市は、過疎化が進み、消滅都 市とまで言われています。このことから目を 背けず、まずは、こちらを解決し、雪だる ま式に増えていく、借金が返済できるよ うな体制をつくる必要だと思います。何か の事業をするときに都内の有名大手企業 に丸投げで、ことを進めることはありませ んか。このような企業に依頼することだけ はしては、ならないことだと思います。市 民ほとんどの方が、市庁舎を建てること に気づいていない。もっと、市民に広報 してほしいということでした。以来、広報 等に掲載はされているようですが今も、こ のような市庁舎が建てられることを知ら ない方がたくさんいます。</p>	1	<p>・市では、人口減少や少子高齢化が進む中 で、市民誰もが笑顔で住み続けることが できるようなまちづくり、市政運営を心 掛けています。そして、将来を担う子ど も達に負担を残さないような財政運営を 行っています。</p> <p>・庁舎だけでなく他の公共施設にも言える ことですが、国の支援措置がある有利な 財源があり、新しくすることによって今 までかかっていた維持管理や人件費など を削減し、市民サービスや施設整備にか かる財源を生み出すことができるにもか かわらず、老朽化した施設を使い続け ることは、問題を先送りして将来の子 ども達に負担を残してしまうことだと考 えています。</p> <p>・これまでも広報をしてきましたが、今後 も市民の皆さまに計画や進捗状況をお知 らせします。</p>
<p>・今ある借金について、私たち世代だけ ではなく次の世代も背負うことになりま す。そのような世代にも、大きな予算を 使うことを説明して、最終的には市民投 票の形で、市民の是非を問うてください 。市庁舎を建てることで、次の世代が潤 うことをきちんと想定しているのでした ら良いのですがこれまでの建前だけの資 料と説明ではそのようには感じていま せん。SNSというもので、時代が大き く変わり中央の政治の情報がどんどん 開示されていく時代になりました。や がては地方もそのように変わるのでは ないかと思っています。その時、市庁 舎を建てた方々の名声が残れば良い のですが。決して、汚名が残るよ うな施策だけはしないでいただきたい と思います。行方市の未来と子供たち の成長を見守るものとしての意見とし て、捉えていただけたら幸いです。</p>	1	<p>・新庁舎建設の財源として合併特例債 の活用を検討していますが、合併特例 債は返済に国の支援を受けられる借 入です。新庁舎を建設することによ り、現庁舎でかかっていた維持管理費 や人件費にかかる経費を削減するこ とができ、その削減額で返済額を補 い、財政に負担をかけないようにでき ると考えています。</p>
<p>・市庁舎を建てることで、市役所職員 の人員削減にもつながると書いてあり ましたが、市職員の人員削減をする 必要があるのでしょうか。図書館 など、人の配置の足りない場所はた くさんあります。重要な広報誌担 当者も一人しかいないと伺いま した。</p>	1	<p>・3庁舎で運営していたことにより、 業務の重複や庁舎間の移動、職員 がやる必要のない業務などムダにか かっていた人件費を削減することが できると考えています。このよ うなムダな人件費を削減すること により、本来やるべき業務や配置 すべき場所に、職員を再配置する ことが可能になります。</p>

<p>・交通弱者が、必要としているのは、市内だけを走るバスではなく、どこにでも行ける交通網が整備されることで、交通弱者に目を向けることで、誰もが住みやすい街になると思います。</p>	1	<p>・現在も医療センターをハブとした公共交通網を形成していますが、これからも新庁舎に来る人が不便にならないように、民間の広域路線バス、市営路線バス、デマンドタクシーなどを組み合わせて、公共交通の充実を図っていきます。また、現在、市営路線バスの一部はスクールバスを活用して運行しているので、朝夕の利用ができなく、市民の利用にあった運行になっていないのが現状であります。スクールバスを利用した路線バスは試験運転であることから、試験運転終了後、スクールバスの運用を終了し、車両のダウンサイズ化を図り、市民の利用に合った路線バスを運行し、更なる公共交通の充実を図っていきます。</p>
<p>・市民が、政治に口出しをせずにいるのは、親しみやすい市役所の方々を信頼しているからだと思えます。どうか、声を出さない市民が悪いなどとは思わず声を出さずとも、きちんとした市政を行って私たち市民を幸せの方向に導いていってください。</p>	1	<p>・市では、市民の皆さまが地域づくりや市政運営に積極的に関わり、意見や提案をまちづくりに反映するための仕組みを構築するために、市民協働指針の作成を進めています。市民協働指針の中では、市政に関する様々な情報を共有するため、分かりやすい情報を提供する場・機会を創出していきます。</p>
<p>・新庁舎建設には反対の立場で意見を申します。新設の理由はいろいろと並べてありましたが、どれも建設有りきの追っかけ的な意見であり、最善策とは言い難い物でした。今回の新庁舎建設では行方市にとって何が良くなるのでしょうか？他所の市町村でやっているの、うちもやりたいというような安易な発想としか見えてきません。</p>	1	<p>・新庁舎建設で、第一に市民サービスの向上、第二に市民の安全安心であり、具体的には庁舎建設基本計画や上記の回答で記載しているとおりです。基本計画策定に至るまでには、市の公共施設の再編プログラムの策定、庁舎のあり方の検討、庁舎建設基本構想の策定などで議論を行っており、それらの議論を踏まえて基本計画の策定に至っています。</p>
<p>・魅力有る、若者が住んでみたいと思う街、年配の方々が住んで良かったと感じる街とは新庁舎を建設する事で達成できるのでしょうか？</p>	1	<p>・ご意見のとおり、庁舎建設をすれば理想のまちづくりが達成するわけではなく、庁舎建設はまちづくりの一つのツールだと考えています。「若者が住んでみたい、年配の方が住んで良かったと感じる街」というご意見は、市の上位計画である総合戦略でも同様な内容を掲げており、達成すべき目標だと考えておりますので、総合戦略で掲げる施策を着実に実行して達成していきたいと考えます。</p>
<p>・庁舎建設の見直しは、行方市庁舎建設基本計画(案)の白紙撤回以外に道は無い。</p>	1	<p>・庁舎建設基本計画(案)を白紙撤回にすることにより、庁舎の問題を先送りしてしまい、将来に負担を残してしまうこととなります。庁舎の問題を解決するうえで、基本計画(案)は、今考えられる最善の方策でありますので、市民の皆様のご意見ご提案を聴きながら着実に進めていきたいと考えます。</p>

<p>・立地について、土浦協同病院行方地域医療センター（以下病院）の近傍が、旧3町の中心であること、市内各地へのアクセス道路網も整っていることから多くの市民の同意が得られると思われる、立地地点としてふさわしい。立地に際して、病院と市役所だけでは本当に用のある方だけしか足を運ばなくなり、市の中心地としてはいささか寂しい気がする。病院と市役所の間に公園（広場）を配置してはどうか。通常時は市民の憩いの場、病院利用者の療養の場として活用し、災害発生時には防災公園として活用できる機能を持たせる。一部は現在の病院の前の緑地を利用することができる。青森県むつ市の金谷地区にコンパクトシティとして、隣接する総合病院と公園、文化センターを連携させ整備している例がある。規模、公園の種類は違うが、考え方としては参考になると思う（むつ市HP）。</p>	1	<p>・新庁舎を建設するだけでなく、周辺のまちづくりについても、市民の皆様の意見を聞いて進めていきたいと考えておりますので、ご意見につきましては、他市の事例も参考にさせていただき、今後検討していきたいと考えます。</p>
<p>・まちづくりについて、市役所が立地することで、近隣に一定程度の商業施設、業務施設が立地することが考えられますが、秩序立ったまちづくりを誘導していく上では、計画的に面的整備を行うことも検討する余地があると思います。市役所、病院、業務系、商業系、住居系をバランスよく配置することができるほか、公共交通機関の設定もやりやすくなります。平地で気候も割と温暖な環境であること、茨城空港に近く、常磐自動車道から空港までのアクセス道路ができれば、空港から短時間で首都圏に向かうこともできます。コンパクトとネットワークのまちづくりが求められる中でも、検討の余地はあると思います。</p>	1	<p>・ご意見のとおり、新庁舎周辺のまちづくりを進めるうえでは、市が都市計画でまちづくりの方向性を示し、必要なインフラ整備を行い、民間事業者を呼び込む必要があると考えます。都市計画を見直すうえでは、市民の皆様のご意見を聴きながら進めていきますので、今回のご意見も反映していきたいと考えます。</p>
<p>・市役所（建物、機能）について、①訪れる方にとって居心地の良い、働く方にとっては仕事がしやすい環境を整備する必要があります。照明、採光、配色、室温、間仕切り等に気を配り、まぶしすぎず暗すぎず、昼休みの消灯時でも一定の明るさが得られる環境が望ましいと思います。②会議室（災害対策本部）について、災害時で天候が悪い中でも外からもアクセスしやすい位置にあった方がいいと思います。車を降りてから、長い廊下、長い階段を経なくてもたどり着ける位置に整備が必要だと思います。大会議室の広さについては、災害時に必要な機材、集まる人員を配置してみて検証することも必要かなと思います。③防災倉庫について、大型車を横付けでき、必要な機材、資材等を整理、整頓して格納できる構造が必要だと思います。</p>	1	<p>・ご意見は、庁舎建設基本計画決定後、設計業務の段階で検討させていただきます。</p>

<p>・時代をどのように捉えているのか。新型コロナ等、感染症、環境、人口減少、財政圧迫、交通関連の変化(自動運転、車のシェア化)、新型コロナのお陰で時代を鮮烈に浮かびあげました。オンラインによる既存方法による建築への考え方も変化しています。この計画は古すぎます。</p>	1	<p>・庁舎問題は喫緊の課題ではありますが、新型コロナウイルス感染症の流行もあり、これからの社会が大きく変わることが想定され、低迷した経済を戻すための大きな財政出動や、新しいライフスタイルに対応した市民サービスの提供や、インフラ整備などが必要となっています。地震や水害などの自然災害だけでなく、新型コロナウイルスなどの新興感染症のリスクなどに、適格に対応できる『防災拠点機能を発揮できる災害に強い庁舎』を整備する必要があります。災害非常時に市民の安全を守り、迅速な災害対応及び復旧作業を進めるための指揮命令系統がある防災拠点機能を整備し、災害でも最低限必要な行政機能の継続性を確保していきます。</p>
<p>・4/1 に旧麻生町が過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき過疎地域として公示されていますが、官公庁機能が無くなれば更なる過疎化が進むのでは。旧麻生町区域に建設すれば補助金等があるのではないか。</p>	1	<p>・麻生地区は、高校や小学校、文化施設が立地する文教エリアであることから、市民の学びと共創の充実を図るサードプレイスの需要も期待されています。よって、このような地域の特性を生かした拠点化を地域の皆様の意見を聞いて進めていきたいと考えます。</p> <p>・過疎地域に対する財政支援措置として、過疎対策事業債の発行や国庫補助金補助率のかさ上げなどを受けることができますが、庁舎建設についての支援措置はございません。</p>
<p>その他の意見</p>		
<p>・現在、図書館評議委員をする中で、行方市の図書館が耐震構造もなく、わかりにくい場所にあるということで前年度、霞ヶ浦ふれあいランドの中に図書館をつくってほしいという声を出させていただきました。その結果、前年度末に、霞ヶ浦ふれあいランドは動物園に変わるということで、そのようなことはできないといった回答が、会議の中でありました。動物園にして、街が発展していくのでしたらそれは、とても素晴らしい判断になると思います。トップが、お決めになったことで街が動いていく。当然のことかもしれませんがもう少し、市民に、それをこのような形にしたことを納得いく形で、説明してほしかったと思います。</p>		